



地元で開業するという選択肢

創業者による講演会

市は、市内での創業者による講演会を10月15日、志佐中学校で全校生徒219人を対象に開催しました。

講演会は、若い世代に地元での創業に関心を持ってもらいたいと初めて実施したもので、今回、志佐町で自らの菓子店を開店した「お菓子のちあん」千北慎一ちのいちさんが講師となり、体験談とともに創業の経緯を話しました。

千北さんは、就職先で先輩達から地元に貢献することの意義を教わったそうで、恩師の言葉「縁ありて花開き恩ありて実を結ぶ」を胸に、地元のものを使って市を代表するお菓子を作りたいと夢を語られました。

講演会は今後も市内の各学校で実施する予定です。



10月10日は点灯の日

早めのライト点灯街頭キャンペーン

日没時間が早くなる秋以降の夕暮れ時の交通事故を防ごうと、松浦警察署や松浦地区交通安全協会などの会員ら15人が10月10日、早めのライト点灯や前照灯のこまめな切り替えを呼びかけるキャンペーンを実施しました。会員らは、パネルなどでドライバーに対しライト点灯を呼びかけました。

今回、キャンペーンがより市民に浸透するようまちの治安（ちあん）を守る警察署と地元菓子店の「お菓子のちあん」のコラボが実現。ライトをモチーフにした「きらりん☆マドレーヌ」が完成しました。

皆さんも早めのライト点灯を心掛けましょう。



子どもたちの未来のために

一般社団法人白浜五地区振興会

一般社団法人白浜五地区振興会（田中治おさむ代表理事）が10月18日、志佐小学校と志佐中学校へ寄附を行いました。

同会は、白浜・岸浜・西山・白浜団地・黒汐の5つの地区で取り組んでいる太陽光発電事業の収益金の一部を地域振興のために活用することを目的に、例年寄附されています。

この日は、田中代表のほか振興会の役員4人が志佐中学校を訪れ、校長先生に寄附を手渡しました。両校長は、「子どもたちのために大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



いつまでもお元気で！

柴山 サツさん 100歳のお誕生日

柴山サツさん（御厨・大崎下）が10月18日、100歳の誕生日を迎えました。

柴山さんは大正8年、志佐町の農家に4人兄弟の長女として生まれ、御厨町の農家に嫁ぎ、二男二女に恵まれました。柴山さんは明るく働き者で、家業である農業を85歳まで続けられました。長男が松浦に戻ってから、大好きな花を植えたり、家の周りの草取りなどをして穏やかに毎日を過ごされ、現在は、田中病院に入院されています。

柴山さんは、当日家族らに囲まれ笑顔で祝福を受け、「今日は皆さんにお祝いしていただき、ありがとうございます」と周囲への感謝の気持ちを話しました。



学校の枠を超え学び、交流する

特別支援学級合同体験旅行

松浦ロータリークラブ(本吉直之会長)が10月29日、市内小中学校の特別支援学級の児童や生徒54人を招待し、佐世保市の九十九島動植物園「森きらら」への合同体験旅行を行いました。

この取り組みは、松浦ロータリークラブが青少年奉仕活動の一環として毎年実施しており、今年で38回目。子どもたちから『ロータリー遠足』と呼ばれ親しまれています。

子どもたちは、他の学校の児童・生徒やロータリークラブの人たちと楽しく交流を図りながら、図鑑で見る動物の生態を観察したり、実際に触れたりして、体験を通しながら学びを深めていました。



まちをきれいに

株式会社九電工松浦営業所清掃作業

株式会社九電工松浦営業所(山本^{しんや}真也所長)が10月21日、淀姫神社の清掃を行いました。

同社では10月15日から25日までを「さわやかコミュニティ旬間」と掲げ、社会貢献活動の一環として、全社で「ありがとう、日ごろの感謝を届けます」を合言葉に毎年清掃ボランティア活動を実施しています。

10月26日の志佐くんちでは、淀姫神社を多くの方が訪れます。みんなが使う場所だからこそ、きれいにして気持ちよく使って欲しいと、社員約8人が掃き掃除やゴミ拾いなどを行い、境内は見違えるようにきれいになりました。



未来を担う子どもたちへ

松浦市ゴルフ愛好会から寄附

松浦市ゴルフ愛好会の代表らが、11月1日に市役所を訪れ、第10回松浦市民親睦ゴルフ大会の参加者のチャリティー金と参加費の一部などを寄附しました。

松浦市民親睦ゴルフ大会は、市民の体力向上と健康増進並びに親睦を図ることを目的に毎年開催されており、参加者から集まったチャリティー金などは毎年市に寄附されています。

この日、市役所を訪れた山本事務局長は、「これからの松浦の未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、教育振興に役立てて欲しい」と市長に目録を手渡しました。



地域交通の発展に向けて

松浦佐々道路 松浦2号トンネル安全祈願祭

西九州自動車道松浦佐々道路 松浦2号トンネル安全祈願祭が10月31日、寺ノ尾地区内の工事現場にて開催されました。

施工業者である(株)安藤・間が、工事の円滑な施工と安全を祈願するために開催したもので、発注者である国土交通省をはじめ関係機関および地区の代表者らが参加しました。松浦2号トンネルは、志佐町の白浜地区と御厨町の寺ノ尾^{のりゆき}地区を結ぶものです。

当日は、姫神社の森川典幸宮司により神事が執り行われ、祝詞の中で、工事の安全にあわせてトンネルの完成が地域の繁栄に繋がるよう祈願されました。

